

令和6年度 里山探検隊〔揖斐コース〕開催！

越美山系砂防事務所

『里山探検隊』は、揖斐川上流域の山間部で生活されている人々の暮らしや文化に直接触れると共に、その交流を通じて山と水との関わりや水源地保全及び防災の大切さを理解していただく学習の場として活動するものです。

I 概要

令和6年10月16日(水)に開催した里山探検隊〔揖斐コース〕において、大谷川第3砂防堰堤の基礎地盤の様子やナンノ谷砂防堰堤2号の既存堰堤改築工事の現場を見学しました。現場では、施工業者からの説明に工事の大変さを理解して頂きました。また、透過型の大蔵谷第1砂防堰堤と不透過型の高地谷第1砂防堰堤の見学では、それぞれの堰堤の役割や効果について学びました。

そのほか、事務所管内3大崩壊地の一つ、ナンノ谷大崩壊地では、過去の災害の歴史から、ひとたび発生した天然ダムにより大災害を引き起こすことを学んで頂きました。

探検隊隊員9名+施工業者1名



明治28年当時の災害時における土砂移動方向

ナンノ谷大崩壊地

II 見学の様子



大谷川第3砂防堰堤工事現場



ナンノ谷砂防堰堤2号工事現場



おぞうたに
大蔵谷第1砂防堰堤



たかちたに
高地谷第1砂防堰堤

III 参加者の感想

「山奥の砂防堰堤が下流域での減災に繋がっていることを認識できた。」「普段入ることの出来ない工事現場で貴重な体験が出来た。」「砂防堰堤の必要性を実感した。」と言った感想を頂きました。また、「災害の歴史について知りたい。」「もっと多くの砂防堰堤を見学をしたい。」との感想も頂くほか、現場では、多くの質問が飛び出すなど、参加者の関心の高さに、同行した職員一同、心強く感じました。